美幌版総合戦略に係る平成30年度予算及び指標設定

基本戦略1

単位：円

担当G	No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額							③ 本事業における重要業績評価指標（KPI）					④ 本事業前の実績値	⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 事業効果（⑤）の評価理由（具体的に）※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由（原因）等についても記載願います	⑦ 事業費総額（①）の内訳 ※「〇〇委託料：〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH29実績値の内容
				過年度	実績額	国支出金	道支出金	起債	その他	一般財源	指標		指標値	単位	目標年月	H28実績値	H29実績値	事業効果			
				後年度	予算額																
みらい農業センター	1	新規就農者確保・育成等総合支援事業（農業経営者育成事業）	【①新規就農研修生の育成】農業機械の操作技術向上、栽培技術・知識の習得、営農・資金計画の樹立に向けた実践的な研修を実施するとともに経営継承方式による就農を円滑に進めるための総合的な支援体制を構築する。 【②農業後継者の育成】冬期農業講座を開催し、農業技術力・経営能力の向上を図る。	H28年度実績額	5,536,083					5,536,083	指標①	新規就農研修生	1	戸	H30.3	1		指標値を達成し事業効果があった	①経営継承方式による新規就農は、資産一括譲渡により新規就農者、離農者、双方にメリットのある仕組みであり、経営基盤を持たない新規就農者の経営安定化が早期に図られる手法である。また、新規就農者の確保は今後の農地流動化及び農家戸数減少対策となっていることから事業効果は高い。（H28年度.研修生：1名、研修2年目を計画通り実施） ②本年度における冬期農業講座は講座内容の充実化が図られたことにより受講者数で昨年の延べ25名から延べ64名と大きく増加したことから事業効果は高い。	（1）新規就農予定者の農業研修支援事業補助金：540,000円 （2）各種研修等報償：15,000円	
											指標②	冬期農業講座受講者数	50	名（延べ）	H30.3	64					
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	295,000				295,000		指標①	新規就農研修生	1	戸	H31.3						
											指標②	冬期農業講座受講者数	100	名（延べ）	H31.3						
みらい農業センター	1	新規就農者確保・育成等総合支援事業（農業青年配偶者対策事業）	農業センター実習と農家実習を自由に組合せできる仕組みの農業体験実習生受入事業は担い手対策協議会を通じて実施し、農業に興味を持った女性実習生を積極的に受入する中で、農業体験を通した農家青年との交流の場を自然な形で設定し、農家青年の成婚率向上を図る。	H28年度実績額	6,719,996					6,719,996	指標①	農業体験実習生	3	名	H30.3	4		指標値を達成し事業効果があった	・農業体験実習生4名を受け入れし、独身農家青年宅での農家研修を実施した。交際には発展しなかったが、農家青年との交流の場を設定することができた。平成27年度、実習生のうち1名が実習終了後、本町へ移住を果たし、実習中に親交のあった農家青年と交際中であることを例に挙げると事業の継続化により、その効果が現れることから事業効果は高い。	農業担い手対策協議会負担金：1,732,000円	
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	6,649,000				1,282,000	5,367,000	指標①	農業体験実習生	3	名	H31.3						
みらい農業センター	1	新規就農者確保・育成等総合支援事業（農業振興事業）	独自性と有益性を兼ね備えた新規作物や新たな栽培技術を地域へ提案、普及するべく各種試験栽培に取り組み、研究・調査を実施する。また、新たな特産品として知名度が高まりつつある「伏せ込みアスパラガス栽培」については、早期出荷と高収化の両立化を図る難題に取り組んでおり、引き続き研究・調査を継続するとともに関係機関と連携し、生産者戸数増加に向けた普及推進を図る。	H28年度実績額	10,498,150					10,498,150	指標①	伏せ込みアスパラガス栽培戸数	7	戸	H30.3	7		指標値を達成し事業効果があった	・7戸の生産者によって取り組まれている日本唯一の11月初旬出荷のアスパラガス冬季栽培は市場において、その希少価値が高く評価され、破格の価格で流通している。生産者7戸では少ない印象を持たれるが、本町農業は大規模畑作経営が主体の地域であり元来、施設園芸作物は普及しにくい環境の中、本町農業史上初の冬季野菜生産となる本栽培の7戸は異例であり道内産地では最多である。よって、その事業効果は高い。	消耗品費：3,605,195円	
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	11,568,000				8,735,000	2,833,000	指標①	伏せ込みアスパラガス栽培戸数	5	戸	H31.3						
農政担当	2	地域しごと支援事業	本町においても農業後継者不足が問題となっており、農業後継者確保が課題となっていることから、経営継承できる農家子弟と農外から新規参入する新規就農者に対し、就農支援を行うことにより、農業後継者確保と本町農業の持続的発展を図ります。	H28年度実績額	9,167,327		1,500,000		3,572,183	4,095,144	指標①	新規就農者数 新規農業従事者数	3	人	H30.3	9		指標値を達成し事業効果があった	新規就農者や新規農業従事者に対し就農支援を行うことにより、農業後継者を確保することが出来た。	（1）就農奨励補助金　　：7,144,367円 （2）農用地賃貸料補助金：519,696円 （3）経営安定補助金　　：　3,264円 （4）青年就農給付金　　：1,500,000円	〇新規農業従事者9名 学卒　5名、 Uターン　4名
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	14,223,000		3,000,000		4,516,000	6,707,000	指標①	新規就農者数 新規農業従事者数	5	人	H31.3						
森林担当	3	森林認証材活用促進事業	付加価値促進を図るために森林認証材買取時に上乗せを行い、認証の普及促進を図る。（補助率1/2、事業者の連携が条件、上限250万円）	H28年度実績額	1,912,457					1,912,457	指標①	認証材の生産量	5,800	m3	H30.3	4,398		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	森林認証材を、住宅供給のため計画的及び使用量調整を行い、産出したため指標値を下回ったものです。 なお、認証材住宅は着実に効果を上げています。	製材：3,353.023m3×1,000円×1／2 ダンネージ材：267.988m3×600円×1／2 バルブ材：777.763m3×400円×1／2 皆伐：5契約　　間伐：4契約	計画的に伐採を行っているため、指標値と異なる。
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	2,500,000					2,500,000	指標①	認証材の生産量	5,800	m3	H31.3						
森林担当	4	美幌町産材活用促進事業	美幌町産FSC森林認証材の利用促進により、森林資源の地産地消の推進・町内経済の活性化・町内住宅の良質な住環境整備を図る。	H28年度実績額	8,280,000	4,140,000				4,140,000	指標①	建築住宅戸数	20	棟	H30.3	10		指標値を達成し事業効果があった	美幌町全体の住宅建築戸数が減少していますが、その中でも森林認証材使用戸数は美幌町全体の65%を認証材を使用した住宅であり、事業効果はありました。	補助金　8,280,000円 認証材使用量：212.7242m3 町内工務店実施率：65% （全体 23戸÷町内 15戸＝ 65.2% 内認証材使用戸数　10戸）	建築住宅戸数・認証材使用量は、その年の状況で変わるため、増減はありますが、これを行うことにより事業効果・町内循環システム等の効果を検証いただきたい。
											指標②	森林認証材使用量	400	m3	H30.3	212					
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	17,400,000	7,830,000				9,570,000	指標①	建築住宅戸数	15	棟	H31.3						
											指標②	森林認証材使用量	275	m3	H31.3						
森林担当	5	森林認証材ブランド化推進事業	美幌町産FSC森林認証材を使用して、価値の高い建材等にするため、新たな乾燥技術（コアドライ）を取り入れ、FSC認証材の地域ブランド化を目指し、販路開拓及び町内外へ普及・PRを図る。（平成27年度国の補正予算に伴い、町でも平成27年度繰越明許費である。）また、美幌町産FSC森林認証材を使用した新製品の開発を行う。	H28年度実績額	8,669,000	8,669,000					指標①	新開発製品	10	品	H30.3			指標値を達成し事業効果があった	今後、FSC認証コアドライ材の普及促進を図っていきます。	地方創生加速化事業「森林認証材ブランド化推進事業補助金」 町→森林組合への委託事業 委託料「8，669，000円」 コアドライ構造材試験研究費 コアドライ技術検査・登録 コアドライ活用住宅模型製作 コアドライの普及・PR・販路拡大 等	
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	246,000					246,000	指標①	町内外へのPR活動	4	回	H31.3						

担当G	No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額							③ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					④ 本事業前の実績値	⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 事業効果(⑤)の評価理由(具体的に) ※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由(原因)等についても記載願います	⑦ 事業費総額(①)の内訳 ※「〇〇委託料:〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH29実績値の内容
				過年度	実績額	国支出金	道支出金	起債	その他	一般財源	指標		指標値	単位	目標年月	H28実績値	H29実績値	事業効果			
				後年度	予算額																
森林担当	6	はじめての木づかい事業	1歳を迎えるお子さん及び新1年生を迎えるお子さんを対象に美幌町産FSC森林認証材を使用した木製品をプレゼントすることで、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」感情豊かな心を育む木育活動を推進する。	H28年度実績額	604,800					604,800	指標①	木製品贈呈数	140	人	H30.3	112		指標値を下回ったものの事業効果があった(見込める)	対象者の減少により指標値を下回っているが、事業効果としては、大変喜ばれています。	消耗品費 604,800円 内訳:積み木セット 46ｺ 車ﾊﾟｽﾞﾙセット 20ｺ 魚釣りセット 35ｺ お椀セット 11ｺ 計112個	住所異動(転出等)を除けば、対象者に対してほぼ連絡を受けて、プレゼントを贈呈できました。
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	873,000					873,000	指標①	木製品贈呈数	120	人	H31.3						
森林担当	7	林業館管理事業	美幌林業館きてらす(美幌駅併設)の維持管理を行う。(平成27年度は、林業館改修事業として、当該施設の改修を行い「木育ひろば」を設置するものも含む)	H28年度実績額	3,098,000					3,098,000	指標①	来館者数	26,000	人	H30.3	29,638		指標値を達成し事業効果があった	美幌林業館は昭和63年3月に設置され26年が経過していたが、当該施設の改修を行ったことにより、子供達が屋内で木の遊具等で遊べる「木育ひろば」を設置することができた。 美幌町内だけでなく、町外からの利用者も多く、目標値を大きく上回り、認知が高いことが伺えた。	施設管理委託料 3,098千円 内訳:施設維持管理費 537千円 施設用燃料費 372千円 修繕料 50千円 人件費 1,950千円 事務費 189千円	月ごとにはバラツキはありますが、来館者数は年間通しては大体一定している。
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	3,495,000					3,495,000	指標①	来館者数	27,000	人	H31.3						
観光担当	8	地域特産品開発支援事業	美幌町の農畜産物及び農畜産物加工品等を活用した特産品(試作品)開発や販路開拓(拡大)を行う取組への補助〔補助率:人件費分2/3、事業費分10/10〕(平成27年度) 28年度からは27年度の事業実績を踏まえ、発展させるため、地域団体を含めた制度設計を行い、29年度からは「地域特産品開発支援事業」を町が担当し、「びほろブランド認証制度」を地域団体が担うことで、両者が車の両輪となって特産品の開発及び販路拡大に努める。	H28年度実績額	–						指標①	–				—					
											指標②										
				H29年度実績額	–						指標③										
				H30年度予算額	1,000,000					1,000,000	指標①	補助件数	2	件	H31.3						
観光担当	9	観光振興事業	観光入込客数のさらなる増加のため、各関係団体との連携を図り、美幌町の個性や特色を活かした観光振興施策を展開し魅力ある観光地づくりを実施するとともに、さらなる情報発信を図る。 29年度は国の事業である「阿寒国立公園満喫プロジェクト」において、国・道・町が連携しながら観光客の更なる集客に向けて美幌峠園地の整備等を図る。	H28年度実績額	3,113,607					2,643,455	指標①	観光入込客数	810,000	人	H30.3	712,930		指標値を下回ったものの事業効果があった(見込める)	H28は道東を襲った台風等の影響が大きく、目標を下回ったが、美幌峠イベントの実施など、各関係団体と連携を図り、観光入込客数増加のための事業を推進した。		
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	3,227,000					3,227,000	指標①	観光入込客数	810,000	人	H31.3						
観光担当	10	空港交通利便性向上事業	女満別空港発、美幌駅経由美幌峠行きバスについて、継続運行を図るとともに利用促進に向けて情報発信に努める。	H28年度実績額	763,600					763,600	指標①	利用者	400	人	H30.3	384		指標値を下回ったものの事業効果があった(見込める)	H28は観光シーズンにおける台風の影響が大きく目標を下回ったが、各関係団体と連携を図り利用促進に向けた情報発信に努めることにより、ある程度の効果あったものと思われる。	バス運行維持負担金 756,000円 (株)阿寒バス(株)	7月16日～10月10日(87日間)、1日2往復の利用者数
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	0					0	指標①	利用者		人	H31.3						
広報担当	11	まちのセールスマン事業	美幌町の景観や公共施設、特産品などを掲載したミニPR紙を作成し、美幌町民が町外・道外で名刺等を配る際に活用してもらい、町全体で美幌町のPRを図る。	H28年度実績額	453,600					453,600	指標①	町民配布枚数	20,000	枚	H30.3	9,610		指標値を下回ったものの事業効果があった(見込める)	配付希望者の内訳として、町職員12名、議員4名、会社等9件、個人21名となっている。会社や個人の希望者割合が多く、様々な分野の方々に、広いPR活動を行えた。	印刷製本費 : 453,600円	平成28年度 名刺作成枚数 12,000枚 配付枚数 9,610枚
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	378,000					378,000	指標①	町民配布枚数	10,000	枚	H31.3						
計画担当	12	広域連携交流推進事業	オホーツク15町村と東京23区(江東区)の都市部との連携により、農林水産物を通した消費地との交流・PRや地域に密着した体験観光・お試し暮らし等を通じた交流人口の増加を推進する。 また、オホーツク地域が一体となって、イメージ戦略を推進することにより、都市部への知名度向上を目指し、交流人口の増加や物産交流へとつなげていく。	H28年度実績額	0						指標①	連携事業取組件数	2	件	H30.3	1		指標値を達成し事業効果があった	28年度は東京都江東区とオホーツク管内15町村が交流連携事業として、江東区での環境フェア出展及び江東区職員のオホーツク管内視察研修を行い、今後の継続と推進について協議を行った。	28年度はオホーツク町村会が国交付金を活用したため、町村の負担金なし。	平成28年6月5日江東区環境フェア 平成29年1月25日～27日江東区職員のオホーツク管内視察研修
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	682,000					682,000	指標①	連携事業取組件数	2	件	H31.3						
商工担当	13	元気な起業家応援事業	・起業・創業に必要な経費の支援(補助率2/3) ・空き店舗家賃補助(補助率10/10) ＊上記2項目の併用を可とし、合わせて200万円の限度額	H28年度実績額	8,000,000			8,000,000			指標①	起業・創業支援件数	3	件	H30.3	4		指標値を達成し事業効果があった	起業資金の支援により、起業への後押しが出来、新規業種を含め4件の実績となった。	起業家支援事業補助金 :8,000,000円	〇飲食店 2件(焼肉屋・パン屋) 〇家具屋(製造販売) 1件 〇アクセサリー店(製造販売) 1件
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	4,000,000			4,000,000			指標①	起業・創業支援件数	2	件	H31.3						
商工担当	14	中小企業利子補給等制度のうち新規起業家融資制度	中小企業を支援するための制度のうち、新規起業家を応援するための事業。起業する方の支援として、運転資金2,000万円、設備資金3,000万円以内の融資を実施する。また、利子補給20%、保証料100%を償還年次分割給付を実施する。	H28年度実績額	0					0	指標①	融資件数	2	件	H30.3	0		指標値を下回ったものの事業効果があった(見込める)	融資希望者が居なかったため実績は無かったが、当該制度を維持することにより新規起業への後押しが図られると考える。 (平成27年度からは起業する際に、当該融資を受けるより、自己資金と「元気な起業家応援事業」における補助金で起業できたため、希望者がいなかった。)		
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	預託額(316,000千円)の4倍枠						指標①	融資件数		件	H31.3	※融資は預託金から支払われる					
商工担当	15	がんばる商店街応援事業	専門家による経営指導、店舗のイメージアップに要する経費への支援:補助率1/2、上限100万円	H28年度実績額	19,156,000					19,156,000	指標①	リフォーム件数	15	件	H30.3	27		指標値を達成し事業効果があった	店舗機能の維持・向上とともに、店舗のイメージアップにより、商店街における集客数が増加が図られ、今後においても経営の安定化が見込まれる。	店舗リフォーム促進支援事業補助金 : 19,156,000円	〇飲食店 13件 (スナック・バー8・カフェ1・食堂3・焼肉屋1) 〇自動車等販売・整備業 3件 〇菓子製造販売業 1件 〇薬局 1件 〇家具販売 1件 〇燃料店 1件 〇自転車販売店 1件 〇総菜店 1件 〇新聞販売所 1件 〇電器店 1件 〇理美容業 2件 〇釣具店 1件
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	15,000,000					15,000,000	指標①	リフォーム件数	15	件	H31.3						
商工担当	16	美幌町商店街活性化事業 ↓ 商店街イベント事業 (H29年度)	商店街を活性化するためのイベントへの支援	H28年度実績額	2,210,000					2,210,000	指標①	ポイントシール消費枚数	120,000	枚	H30.3	—		指標値を達成し事業効果があった	各イベントとも多くの町民が足を運び、各イベントにおいて販売促進へと繋がった。	商店街活性化事業補助金 : 2,210,000円	〇北1丁目ナイターセール 〇中央商店会おまつり広場 〇生き活き商店街夏の感謝祭 〇新町ふれあいゆうゆう祭 〇スマッピーカードびほろ年末年始大売り出し
											指標②	抽選会来場者数	1,500	人	H30.3						
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	2,810,000					2,810,000	指標①	イントシール消費枚数	120,000	枚	H31.3						
											指標①	抽選会来場者数	1,500	人	H31.3						

美幌版総合戦略に係る平成30年度予算及び指標設定

基本戦略2

単位：円

担当G	No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額							③ 本事業における重要業績評価指標（KPI）					④ 本事業前の実績値	⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 事業効果（⑤）の評価理由（具体的に）※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由（原因）等についても記載願います	⑦ 事業費総額（①）の内訳 ※「〇〇委託料：〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH29実績値の内容
				過年度	実績額	国支出金	道支出金	起債	その他	一般財源	指標		指標値	単位	目標年月	H28実績値	H29実績値	事業効果			
				後年度	予算額																
計画担当	1	移住促進事業	①移住促進のPR：首都圏で開催される移住促進イベントの参加経費 ②「ちょっと暮らし」のための施設整備：空き家となっている教員住宅の改修及び必要な備品等の整備	H28年度実績額	1,019,874					1,019,874	指標①	移住体験者	8	組	H30.3	8		指標値を達成し事業効果があった	28年1月に28年4月以降の申込み受付を行い、抽選の結果その時は5組の体験者が決まったが、情報の更新や移住サイトへ掲載し、更に北海道の「移住と仕事のマッチング事業」に参加し、移住体験者を迎えたなどにより、最終的に8組の体験者につながった。 また、「移住と仕事のマッチング事業」を行った体験者1名が、28年3月に美幌町へ移住した。 その他、28年10月に移住相談に来たご夫婦及び12月に来たご夫婦に、町内案内や相談、メールでのやり取りなどを行った結果、それぞれ28年11月、29年2月に移住した。	移住フェア参加等旅費：230,320円 消耗品費：37,443円 需用費（光熱水・燃料）：126,418円 修繕費（移住体験住宅）：249,480円 役務費（通信・手数料）：37,591円 委託料：113,302円 使用料：25,320円 負担金（移住関係協議会費、移住フェア参加費）：200,000円	【移住体験者】 愛知県1組、京都府1組 鹿児島県1組、宮城県1組、 神奈川県1組、 北海道深川市1組、 大阪府1組、沖縄県1組 ※参考【移住者】 大阪府1組（単身30代） 東京都1組（夫婦3,40代） 栃木県1組（夫婦30代）
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	987,000					987,000	指標①	移住体験者	8	組	H31.3						
政策担当	2	空き家対策	29年度に空き家・空き店舗実態調査を行い、その結果を基に30年度以降検討を行う。	H28年度実績額	0						指標①				H30.3						
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	2,416,000					2,416,000	指標①	北海道空き家バンク登録棟数	5	棟	H31.3						
計画担当	4	政府関係機関の誘致	国が掲げる総合戦略の一つで、東京に集中している官公庁を地方へ移転させ、東京一極集中を是正し、リスクの分散を進めることを目的にしたもの。美幌町への誘致を推進する。	H28年度実績額	0					—	指標①	政府関係機関誘致数	1	機関	H32.3	0		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	政府関係機関の移転要望については、27年度に行われた以降、国からの照会もない状況だが、美幌駐屯地の維持（増強含む）については陳情を続けており、現在のところ現状維持を保っている。		
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	0					0	指標①	政府関係機関誘致数	1	機関	H32.3						

美幌版総合戦略に係る平成30年度予算及び指標設定

基本戦略3

単位：円

担当G	No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額 過年度	実績額	国支出金	道支出金	起債	その他	一般財源	③ 本事業における重要業績評価指標（KPI） 指標		指標値	単位	目標年月	④ 本事業前の実績値 H28実績値	⑤ 本事業終了後における実績値 H29実績値	事業効果	⑥ 事業効果（⑤）の評価理由（具体的に）※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由（原因）等についても記載願います	⑦ 事業費総額（①）の内訳 ※「〇〇委託料：〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH29実績値の内容
				後年度	予算額																
戸籍年金担当	2	ピンクの婚姻届事業	婚姻届を出すカップルに、ちょっとかわいいピンク色の婚姻届を美幌町産材で作られた木製フォルダに入れてお渡しする。またサービスで写真撮影を行い、町産材利用促進や美幌町を応援してもらうことを目的としている。	H28年度実績額	0						指標①	婚姻届出数	100	件	H30.3						
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	432,000					432,000	指標①	婚姻届出数	100	件	H31.3						
健康推進担当	4	妊婦一般健康診査等交通費補助事業	妊産婦の心身の健康の保持及び家庭の経済的負担の軽減を目的に、妊娠に係る健康診査及び出産のため町外の医療機関に通院する交通費を助成（1,080円/1回、15回を上限）	H28年度実績額	1,327,320		315,720			1,011,600	指標①	妊婦一般健康診査等交通費補助人数	111	人	H30.3	110人		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	出産に係る費用を助成することにより、妊産婦家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援が図られた。 (実績値が指標値を下回った理由) ・出生数が想定より減少したため。	妊婦一般健康診査等交通費補助金：1,327,320円	申請者数　110人 補助対象回数　健康診査 1,133回／出産準備 96回
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	1,685,000		457,000			1,228,000	指標①	妊婦一般健康診査等交通費補助人数	102	人	H31.3						
健康推進担当	5	産後1ヶ月健康診査補助事業	母子の心身の健康の保持及び対象となる家庭の経済的負担の軽減のため、産後1箇月健康診査を受診するための費用及び受診に要する交通費を助成（5,000円）	H28年度実績額	520,000					520,000	指標①	産後1箇月健康診査補助人数	104	人	H30.3	104人		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	産後1箇月の健診に係る費用を助成することにより、対象家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援が図られた。 (実績値が指標値を下回った理由) ・出生数が想定より減少したため。	産後1箇月健康診査補助金：520,000円	申請者数　104人 補助対象回数　104回
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	600,000				500,000	100,000	指標①	産後1箇月健康診査補助人数	96	人	H31.3						
健康推進担当	6	特定不妊治療費補助事業	医療保険適用外の特定不妊治療に要する費用を助成することにより、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減と少子化対策の推進を図る。	H28年度実績額							指標①										
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	2,250,000				1,200,000	1,050,000	指標①	特定不妊治療費補助申請件数	15	件	H31.3						
健康推進担当	7	乳幼児等予防接種扶助事業	里帰り出産中に受けた予防接種費用を扶助することで、乳幼児等の健康の保持及び家庭の経済的負担の軽減を図る。	H28年度実績額							指標①										
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	744,000					744,000	指標①	扶助件数	11	件	H31.3						
国保	8	医師確保対策事業	民間の医師紹介サイト等を活用することで常勤医師の招聘を行い、医療の充実を図る。	H28年度実績額	13,990,897					13,990,897	指標①	常勤医師数	13	人	H30.3	10		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	産婦人科医が全国的に不足しており招聘は困難であるが、引き続き取り組みを行う。	医師募集広告掲載料80千円 医師募集サイト広告掲載料1,126千円 医師紹介手数料（2名）12,785千円	＜常勤医師＞ 内科常勤医師：3名 循環器内科常勤医師：1名 呼吸器内科常勤医師：1名 総合診療科常勤医師：2名 整形外科常勤医師：1名 泌尿器科常勤医師：1名 小児科常勤医師：1名 ＜求めている常勤医師＞ 外科常勤医師：1名 産婦人科常勤医師：1名 眼科常勤医師：1名
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	9,020,000					9,020,000	指標①	常勤医師数	12	人	H31.3						
健康推進担当	9	エンゼルサポート120事業	乳幼児を扶養している子育て世帯の保護者に対して、美幌町指定ごみ袋を支給することにより、世帯の経済的負担を軽減し、子育てを支援（平成29年度からおむつの無料収集を開始したため、当事業は終了）	H28年度実績額	51,030					51,030	指標①	エンゼルサポート120事業支給者数	132	人	H30.3	131人		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	乳幼児を扶養している子育て世帯の保護者に対して、美幌町指定ごみ袋を支給することにより、世帯の経済的負担を軽減し、子育ての支援が図られた。 (実績値が指標値を下回った理由) ・出生数が想定より減少したため。	エンゼルサポート120事業用消耗品：51,030円	申請者数　131人 支給枚数　14,600枚
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	0					0	指標①	エンゼルサポート120事業支給者数		人	H31.3						

担当G	No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額							③ 本事業における重要業績評価指標（KPI）					④ 本事業前の実績値	⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 事業効果（⑤）の評価理由（具体的に）※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由（原因）等についても記載願います	⑦ 事業費総額（①）の内訳 ※「〇〇委託料：〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH29実績値の内容
				過年度	実績額	国支出金	道支出金	起債	その他	一般財源	指標		指標値	単位	目標年月	H28実績値	H29実績値	事業効果			
				後年度	予算額																
児童支援担当	10	子育て支援対策事業	0歳児から2歳児までの民間保育所利用者に対し、保育料(町立保育所との差額分)を支援。また、平成28年度から更に多子軽減を実施して、平成29年度には拡大し、更なる支援を行う。も実施し支援の拡大を行う。	H28年度実績額	13,849,300					13,849,300	指標①	保育料利用負担軽減者数	50	名	H30.3	48		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	民間保育所に通所している低年齢児(0～2歳児)及び多子世帯の保護者に対し、保育料の負担軽減のため助成したことにより子育て支援対策の充実が図られた。	民間保育園利用者補助金　13,849,300円	保護者48名(48世帯)
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	24,964,000					24,964,000	指標①	保育料利用負担軽減者数	60	名	H31.3						
児童支援担当	11	地域子育て支援センター事業	乳幼児の保育に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、子育てサークルへの支援等を行う。	H28年度実績額	4,352,207	908,000	801,000			2,643,207	指標①	利用者延べ人数	8,000	名	H30.3	7,844		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	少子化の影響等で利用者数は減っているものの、センターの各種行事や育児相談、利用者が必要な情報の提供及び助言を行うことで、地域の子育て支援センターとしての役割は果たせた。	臨時職員賃金　2383,396円　旅　費　32,000円 需用費　381,291円　負担金　10,000円 償還金　944,000円 共済費　377,377円 役務費　115,175円 報償費　86,400円 委託料　22,568円	3,895組（親3,411名　子4,433名）
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	4,642,000	900,000	900,000			2,842,000	指標①	利用者延べ人数	8,000	名	H31.3						
児童支援担当	12	一時預かり事業	保護者や家族の病気、不定期に仕事をするなど、家庭での保育が困難になったときに、満1歳児以上就学前までの子を一時的に預かる。	H28年度実績額	3,268,789				852,000	2,416,789	指標①	一時預かり利用日数	350	日	H30.3	439		指標値を達成し事業効果があった	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育又は保護者の疾病や家族の疾病による付き添い等緊急時の一時的な保育のため、一時預かり事業を行うことにより、児童の福祉の向上が図られた。	臨時職員賃金　3,268,789円	利用児　3歳児未満　439日
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	4,067,000				811,000	3,256,000	指標①	一時預かり利用日数	450	日	H31.3						
児童支援担当	13	放課後児童健全育成事業	保護者が昼間就労・留守などにより保育が出来ない小学生の児童を対象に、適正な遊び場及び生活の場を与え、児童の健全育成と福祉増進を図る。	H28年度実績額	31,410,703	5,467,000	5,467,000		6,095,600	14,381,103	指標①	学童保育所利用者数	140	名	H30.3	153		指標値を達成し事業効果があった	保護者が昼間就労・留守などにより保育が出来ない小学生の児童の健全育成と福祉増進を図られた。	臨時・嘱託賃金　25,495,246円 共済費　3,464,647円 需用費　1,941,516円 役務費　306,725円 委託料　195,069円 旅費　7,500円	美幌小学校　56名 東陽小学校　64名 旭小学校　33名
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	32,885,000	5,803,000	5,803,000		6,317,000	14,962,000	指標①	学童保育所利用者数	140	名	H31.3						
商工担当	14	子育て世帯応援事業	①高校生以下の子どもを養育している方 プレミアム率55%の商品券5,500円（スマッピーカードチャージ額10,000円）×743セット ②18歳以上30歳未満の若者 プレミアム率55%の商品券5,500円（スマッピーカードチャージ額10,000円）×157セット 高校生以下の子どもを養育している世帯に対し、プレミアム率50%の商品券を発行。（スマッピーカードチャージ額10,000円で5,000円分の商品券）	H28年度実績額	2,248,000			2,248,000			指標①	商品券利用率	95	%	H30.3	99.9		指標値を達成し事業効果があった	町内商店の利用を促すため、プレミアム商品券を発行。 99.9%の利用率からも、十分な消費喚起及び子育て世帯等への支援が図られた。	子育て世帯等応援事業補助金：2,248,000円	
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	3,000,000			3,000,000			指標①	商品券利用率		%	H31.3						
健康推進担当	15	子育て世帯禁煙サポート補助事業	禁煙の取組を促し、たばこの害から治療者本人及び同居する子どもの健康を守るため、子育て世帯の喫煙者に対し、禁煙治療に要する費用の一部を補助	H28年度実績額	53,300					53,300	指標①	補助対象者数	20	人	H30.3	7		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	子育て世帯の喫煙者へ禁煙を促し、治療者本人と家族の受動喫煙による健康被害を防いだ。また、母子手帳交付時に喫煙の影響と補助事業の説明などにより禁煙への動機付けと啓発が図られた。 （実績値が指標値を下回った理由） ・補助対象となる若い世代は健康に対する関心が低く、習慣的な喫煙者の多くは依存症であり、禁煙の動機付けが難しい。禁煙促進には地域全体として禁煙意識の醸成が必要であり、長期的な取り組みが必要。	子育て世代禁煙サポート補助金：53,300円	補助者数7名(@7,614円)＊上限10,000円
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	200,000					200,000	指標①	補助対象者数	7	人	H31.3						
民生担当	16	乳幼児等医療費助成制度 ↓ 子ども医療費助成制度	乳幼児等の医療費に対し、保険制度が7割（8割）・北海道が1割（2割）・美幌町が0．5割を負担し、保健の向上と福祉の増進及び子育て世帯への経済的支援を行う。	H28年度実績額	23,968,327		9,538,000		80,490	14,349,837	指標①	乳幼児医療費受給者数（医療証の受給者数）	811	人	H30.3	882		指標値を達成し事業効果があった	病気やケガ等により、病（医）院への受診者が増えたため。（子どもの実数が増えた訳ではない。）	消耗品費　46,653円 印刷製本費　68,040円 扶助費　23,853,634円	小学生以下　879人 中学生　3人
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	48,659,000		9,881,000		98,000	38,680,000	指標①	乳幼児医療費受給者数（医療証の受給者数）	2,035	人	H31.3						

美幌版総合戦略に係る平成30年度予算及び指標設定

基本戦略4

単位：円

担当G	No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額	過年度 実績額	国支出金	道支出金	起債	その他	一般財源	③ 本事業における重要業績評価指標（KPI） 指標		指標値	単位	目標年月	④ 本事業前の実績値 H28実績値	⑤ 本事業終了後における実績値 H29実績値	事業効果	⑥ 事業効果（⑤）の評価理由（具体的に）※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由（原因）等についても記載願います	⑦ 事業費総額（①）の内訳 ※「〇〇委託料：〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH29実績値の内容
商工担当	1	空き店舗活用事業	空き店舗を活用して新規企業・チャレンジショップ支援などを行い、街中に賑わいや活力を創出する。（空き店舗の月額家賃（上限8万円）の2分の1を、町と商工会議所が1年間補助）	H28年度 実績額	0					0	指標①	空き店舗活用件数	2	件	H30.3	0		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	実績は無かったものの当該制度を維持することで、空き店舗の活用が推進されるものと考える。（相談件数1件→H29実施予定）		
											指標②										
				H29年度 実績額	0					0	指標③										
				H30年度 予算額	533,000					533,000	指標①	空き店舗活用件数	2	件	H31.3						
商工担当	2	消費喚起プレミアム商品券発行事業	プレミアム商品券を発行することにより地域の消費喚起を図る。一般向けとして、プレミアム率30%の商品券を発行。（スマッピーカードチャージ額10,000円で3,000円分の商品券）	H28年度 実績額	6,143,000			6,143,000			指標①	商品券利用率	95	%	H30.3	99.9		指標値を達成し事業効果があった	町内商店の利用を促すため、プレミアム商品券を発行。99.9%の利用率からも十分な消費喚起が図られた。	プレミアム商品券発行補助金 ： 6,143,000円	
											指標②										
				H29年度 実績額	0						指標③										
				H30年度 予算額	5,400,000			5,400,000			指標①	商品券利用率	95	%	H31.3						
指導担当	3	住宅リフォーム促進事業	住宅の改修に要する費用の一部を助成することにより、町民が安心して暮らすための居住環境の整備、環境負荷の低減及び地域経済の活性化を図る。・50万円以上の改修工事に対して、費用の20%以内（限度額50万円）を助成	H28年度 実績額	51,839,000			51,800,000		39,000	指標①	制度利用件数	130	件	H30.3	155		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	平成23年度から実施した当該事業は、平成28年度までの6年間で、870件、約21億3千万円の工事契約高を積み上げており、住環境の整備並びに地域経済の活性化に寄与したものと考えている。	補助金：42,791,000円	当面100～150件/年程度の一定の需要を見込んでおり、その幅の中で年度により実績値にバラツキがあることはやむを得ないと判断している。
											指標②										
				H29年度 実績額	0						指標③										
				H30年度 予算額	47,190,000			47,100,000		90,000	指標①	制度利用件数	130	件	H31.3						
交通安全担当	4	ワンコインバス、乗合タクシー等利用促進事業	地域住民の足となっている路線バス、ワンコインバス及び町が運行する混乗スクールバス等の維持確保や利便性向上に努めながら、公共交通の確保・維持を推進する。	H28年度 実績額	20,453,220					20,453,220	指標①	利用者数(H28.10～H29.9)	36,000	人	H29.9	30,967		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	人口減少に伴う全体的な利用者の減少や美幌高校線を利用する生徒の減少が影響していると考えます。 減少割合と指標減少割合が大きく乖離している要因には、国への補助申請のため高い目標値が設定されています。こうした状況の中、市内循環線バス停の変更やルートの一部見直しなどにより利便性の改善をしていますが、全体的に利用者の減少傾向に歯止めがかかっていません。今後も状況を見極め、利用者の要望等、改善を行います。 本事業は、民間バス事業者が主体であり、国・道と町の補助金によりバス会社の路線を維持確保しているもので、本来であればバス会社等がより一層の自助努力や改善に期待をしたいが、慢性的な運転手不足や、経営的にも運行便数の増や新たな路線は困難な状況です。 バス利用者の多くは高齢者や学生が中心ですが、新たな利用者の開拓等、バス会社と一緒に検討していきます。	28年度）生活バス路線運行維持費補助金 20,454千円 ・阿寒バス： 市内循環線 7,911千円 ・網走バス： 網走－美幌線 3,713千円 ・北見バス： 北見－美幌津別線等 7,730千円 ・北交ハイヤー： 乗合ﾀｸｼｰ 1,100千円	利用者数（地域内フィーダー系統） ・市内循環線 25,909人（前年比△ 1%） ・美幌校高線 3,388人（ 〃 △ 8%） ・乗合タクシー 1,670人（ 〃 △ 1%） 計 30,967人（ 〃 △ 2%） 利用者数（地域間幹線系統等） ・網走－美幌線 17,572人（前年比△15%） ・北見－美幌津別線等 118,062人（ 〃 △ 3%） 計 135,634人（ 〃 △ 4%）
											指標②										
				H29年度 実績額	0						指標③									27年度） 生活バス路線運行維持費補助金 18,110千円 ・阿寒バス： 市内循環線 6,872千円 ・網走バス： 網走－美幌線 3,410千円 ・北見バス： 北見－美幌津別線等 6,787千円 ・北交ハイヤー： 乗合ﾀｸｼｰ 1,041千円	利用者数（地域内フィーダー系統） ・市内循環線 26,281人 ・美幌校高線 3,681人 ・乗合タクシー 1,690人 計 31,652人 利用者数（地域間幹線系統等） ・網走－美幌線 20,391人 ・北見－美幌津別線等 121,549人 計 141,940人
				H30年度 予算額	27,815,000					27,815,000	指標①	用者数(H29.10～H30.9)	33,300	人	H30.9						
住民活動担当	5	美幌町まちづくり活動奨励事業	住民自らの知恵と行動により、まちづくり諸活動を奨励するもの。自治会や団体・組織を対象に地域の公共的課題を自主的かつ継続的に取り組む事業に支援し、その活動継続と発展を図るもの。	H28年度 実績額	439,000				439,000		指標①	事業の利用件数	3	件	H30.3	1		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	町民団体等が主体の事業に対して補助する提案事業型の補助金で、町民主体のまちづくりを期待する。今回提案のマチコンは204名と十分趣旨である出会いの場の提供ができており効果があったと検証する。 指標値を下回った理由に、年間予定しているソフト事業が2件分、ハード事業が1件分であるが、当該年度においてソフト事業が1件のみで、ハード事業は申請が無かったため。	補助金額： ①「美幌マチコン」 439,000円	「美幌マチコン」・・・ 町内外の方々の交流人口を増やす。また、町内の飲食店を会場にすることで経済効果も期待する。
											指標②										
				H29年度 実績額	0						指標③										
				H30年度 予算額	2,000,000				2,000,000		指標①	事業の利用件数	3	件	H31.3						
計画担当	6	美幌町まちづくり参画プロジェクト	地域の学校を活用し、学生ならではの意見・アイディアによるまちづくり活動に支援することで、地域の未来を考え、まちづくりへの意識向上を図り、地元に残る若しくは帰ってくる学生を育成する。	H28年度 実績額	634,000					634,000	指標①	プロジェクト件数	2	件	H30.3	1		指標値を達成し事業効果があった	美幌高校地域資源マテリアル班を「美幌伝道大使」に任命し、学生が主体となって、地域資源を活かした循環型養豚（農業）、その活動を分かりやすく表現した漫画テキストの作成、そして美幌高校の農場を活かした食育などにより、大使に任命された生徒の資質向上と共に、子どもたちに食育による地域の魅力を発信できた。	委託費：634,000円 美幌伝道大使推進協議会への委託費 （商工会議所、農家、商業者等の協議会）	・循環型養豚（農業）やそれに関する商品を分かりやすく記載した漫画テキストの作成・配付 ・食育（美幌・東陽保育園、旭小学校4年生） ・育てた豚・野菜を活用したメニュー開発 ・各イベントでの販売活動 など
											指標②										
				H29年度 実績額	0						指標③										
				H30年度 予算額	1,000,000					1,000,000	指標①	プロジェクト件数	2	件	H31.3						
計画担当	7	地域おこし協力隊事業	都市地域から「地域おこし協力隊員」を募集し、一定期間、地域に居住して、地域のさまざまな課題について協力活動をしてもらい、地域への定住・定着を図る。	H28年度 実績額	1,517,400					1,517,400	指標①	地域協力活動案件数	2	件	H30.3	2		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	平成29年度採用を目指して、2つの地域協力活動の構築を図り、首都圏等から応募者の面接を行った結果、2名の内定者を出したものの辞退となったため、最終的に採用には至らなかった。	委託費：1,517,400円 （北海道観光まちづくりセンター）	【地域協力活動案件】 ・コアドライ製品のPR、販路開拓・拡大活動 ・森林認証の普及・PR、木材の活用促進活動 【面接者】 東京都1名、愛知県1名、茨城県1名、神奈川県1名、北見市1名 計5名
											指標②	協力隊員数	2	人	H30.3	0					
				H29年度 実績額	0						指標③										
				H30年度 予算額	5,847,000					5,847,000	指標①	地域協力活動案件数	2	件	H31.3						
											指標②	協力隊員数	2	人	H31.3						
政策担当	8	人材バンク事業	美幌町に縁があり、文化、芸術、スポーツ、経済界などで特技や資格を持った人材をリスト化し、まちでの行事や学習などで活躍してもらう。	H28年度 実績額	0						指標①										
											指標②										
				H29年度 実績額	0						指標③										
				H30年度 予算額	–					–	指標①	–									

担当G	No	① 対象事業の名称	事業内容	② 実績額 予算額	過年度 実績額	国支出金	道支出金	起債	その他	一般財源	③ 本事業における重要業績評価指標（KPI） 指標		指標値	単位	目標年月	④ 本事業前の実績値 H28実績値	⑤ 本事業終了後における実績値 H29実績値	事業効果	⑥ 事業効果（⑤）の評価理由（具体的に） ※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由（原因）等についても記載願います	⑦ 事業費総額（①）の内訳 ※「〇〇委託料：〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH29実績値の内容
				後年度	予算額																
教委・総務担当	9	ICT教育環境整備事業	町内の小中学校でICT（情報通信技術）を活用し、確かな学力を育成する教育を推進します。	H28年度実績額	17,131,000					17,131,000	指標①	国の整備指針に基づくICT機器必要数	3	校	H30.3	3		指標値を達成し事業効果があった	国の整備目標に準じてタブレットPC、実物投影機等のICT機器を導入した。授業で活用されており、児童への教育効果が高まった。	小学校機械器具：　658,584円 中学校修繕料：　768,960円 中学校機械器具：　280,584円 中学校庁用備品：15,422,400円	旭小学校：液晶テレビ4台、実物投影機7台 美幌中学校：PC41台、タブレットPC10台、無線LAN、大型テレビ2台 北中学校：タブレットPC11台、無線LAN
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	17,778,000	1,866,000				15,912,000	指標①	国の整備指針に基づくICT機器必要数	5	校	H31.3						
学校教育担当	10	少人数学級推進事業	きめ細かな学習指導環境を整えることを目的に、各小学校の全学年で35人学級を実現すべく、期限付教諭を任用する。	H28年度実績額	12,710,953			12,700,000		10,953	指標①	町費負担教員	1	人	H30.3	3		指標値を達成し事業効果があった	すべての小学校の全学年で35人学級の実現ができたことにより、一人一人のの児童にきめ細かな指導を行うことができた。	社会保険料：1,687,696円 臨時職員賃金：10,983,600円 健康診断委託料：39, 657円	
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	5,617,000			5,600,000		17,000	指標①	町費負担教員	1	人	H31.3						
学校教育担当	11	学力向上支援事業	一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導を行い、基礎的・基本的な学力の定着を図ることを目的に、小学校教育支援員を配置し、習熟度別学習を実施する。	H28年度実績額	3,356,293					3,356,293	指標①	教育支援員	3	人	H30.3	2		指標値を達成し事業効果があった	学習内容を確実に身に付けさせることができるよう、教育支援員を配置することにより、習熟度別少人数指導等のきめ細かな学習指導を行い、基礎・基本の定着が図られた。	社会保険料：36,784円 人夫賃等：3,287,953円 健康診断委託料：31,556円	
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	5,521,000					5,521,000	指標①	教育支援員	3	人	H31.3						
学校教育担当	12	博物館との連携事業	博物館の学芸員と教諭との連携により、美幌町の自然体験や観察会、工作教室を実施し、地域への郷土心の養成と特色ある授業を実施する。	H28年度実績額	0					0	指標①	連携事業実施校	5	校	H30.3	5		指標値を達成し事業効果があった	博物館との連携による体験学習により、地域資源を活用した学校教育の充実が図られた。	（報償費：24,000円） （消耗品費：106,360円） （原材料費：12,525円）	町内小中学校（美小・東陽小・旭小・美中・北中）全ての学校と連携をしながら体験授業を実施できた。
											指標②										
				H29年度実績額	0					0	指標③										
				H30年度予算額	0						指標①	連携事業実施校	5	校	H31.3						
学校教育担当	13	学生ボランティア学習サポート事業	夏季・冬季の長期休暇中の小中学生に東京農業大学の学生が勉強を教え、児童・生徒の学力向上を図る。	H28年度実績額	57,800					57,800	指標①	学習サポート事業参加人数	2,000	人	H30.3	2,936		指標値を達成し事業効果があった	学生ボランティアによる長期休暇中の学習サポートを行うことにより、学力向上と学習習慣の定着が図られた。	報償費：30,900円 食糧費：16,800円 保険料：10,100円	
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	235,500					235,500	指標①	学習サポート事業参加人数	2,000	人	H31.3						
住民活動担当	14	国際交流事業	平成４年からﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ・ｹﾝﾌﾞﾘｯｼﾞ地区と友好姉妹都市の関係が継続され、両地域における人材派遣として「高校生短期交換留学」を実施。 さらに隔年でｹﾝﾌﾞﾘｯｼﾞ高校から短期留学の受け入れも行う。	H28年度実績額	373,886				373,886		指標①	留学生（美幌高校）の人数	2	人	H30.3	2		指標値を達成し事業効果があった	美幌高校からケンブリッジ高校へ短期留学を予定である2名派遣することができた。ケンブリッジ高校への留学実施で、美幌と友好姉妹都市である地域との人的交流が継続でき、生徒自身においても将来を考える機会となり、事業効果はあると検証する。	国際交流事業消耗品　3,886円 （留学レポート・エアメール用） 高校生短期交換留学事業負担金　370,000円 内訳）・渡航費用（高校生2名）　370,000円 ・授業料等（　〃　）　0円 ※ケンブリッジ市の好意により授業料等は負担がなかった。	平成28年7月20日　出発～　8月10日　帰町 留学先：友好姉妹都市ケンブリッジ(NZ)のケンブリッジ高校 留学生：美幌高校普通科2年の　女子生徒2名 留学内容：日本の高校とは授業形態や生徒の積極性の違いを体験。この経験が帰国してから生徒自身の積極性を意識する切っ掛けとなった。また、食文化の違いなど生活環境の違いも肌で感じ、改めて日本の良さや異文化の魅力を感じた。今後英語の勉強に一層意欲。帰国レポートを提出済。
											指標②	ケンブリッジ訪問団の来町人員	6	人	H30.3	—					
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	892,000				892,000		指標①	留学生（美幌高校）の人数	2	人	H31.3						
教委・総務担当	15	美幌高校寄宿舎運営補助事業	美幌高校寄宿舎に入寮している生徒支援と、道内外から入学する生徒への寮確保を目的とし、寄宿舎の維持運営を図る。	H28年度実績額	0						指標①										
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	3,173,000					3,173,000	指標①	入寮者数	6	人	H30.4						
防災担当	16	防災対策事業	美幌町の地域に関わる防災に関し、災害予防を実施するにあたり、防災資機材を計画的に整備する。また、町民の防災意識の向上を図ることを目的に、地域と連携した避難行動訓練や図上訓練を実施、家庭用備蓄の普及啓発など、防災体制の強化を図る	H28年度実績額	13,624,322					13,624,322	指標①	防災訓練参加者数	100	人	H30.3	135		指標値を達成し事業効果があった	防災訓練については、昨年から引き続き水害を想定した避難行動訓練を開催した。（美芳地区、参加者92名） また、新たな試みとして、図上訓練（参加者28名）や児童を対象とした防災キャンプ（参加者15名）を開催し、防災意識の向上が図られた。 防災資機材については備蓄計画に基づき計画的に整備し、個別配布用の非常用持出品を継続的に配布するなどの取組みにより、より一層の防災体制の強化が図られた。	・防災無線保守点検　421千円 ・防災情報配信システム保守等業務委託　637千円 ・ハザードマップ作成委託料　302千円 ・避難所等AED借上料　340千円 ・個別配布用非常用持出品　4,990千円 ・防災資機材保管倉庫設置委託料　338千円 ・備品購入費（防災資機材等）　3,815千円	
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	20,562,000		4,873,000	2,400,000		13,289,000	指標①	防災訓練参加者数	100	人	H31.3						
防災担当	17	自主防災活動推進事業	各自主防災組織において、災害時に備えた設備を整えるとともに、町民と関係機関が連携した自主防災訓練及び地域避難訓練を実施し、日頃の防災意識の向上と防災体制の強化を図る。また、未設立団体への積極的な働きかけを行い設立、促進を図る。	H28年度実績額	250,000					250,000	指標①	自主防災組織の結成率	73.75	%	H32.3	66.70%		指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）	自治会連合会による訓練などをとおして、未設立自治会への働きかけなど、積極的な取組みは行ったものの、新規設立までには至らなかったが、新たに自主防災資機材等収納倉庫の設置（1件）を行い、地域の防災体制の強化を図ることができた。	自主防災資機材等購入補助金　250千円 （資機材等収納用倉庫）	
											指標②										
				H29年度実績額	0						指標③										
				H30年度予算額	850,000		300,000			550,000	指標①	自主防災組織の結成率	73.75	%	H32.3						